

## なぜわたしはそれを行うのか？—

### すべての人が問いかけるべき質問

「君の走りは、なかなかいいね」高校時代、陸上部のコーチに言われました。彼は続けて、「一つの場所で、長く走らないでいてくれればね。」とも付け加えました。これは、彼なりの表現で、わたしがあまり速いランナーではないということを表していました。わたしの走り方は、まるでロッキングチェアに座っている人のようなもので、動きは活発なのですが、あまり前に進んでいなかったということです。

これはある意味、私たちのプライベートや職業人生を象徴するかのようにも見えます。私たちは、いつも何かにつけて忙しく動き回っているかもしれませんが、いったい何を達成したのでしょうか？自分自身を正直に見つめ、もしあまり何も達成していないという結論に達したとしたら…なぜ今の仕事を続けているのでしょうか？それはもしかすると、見た目的に体裁は取り繕っているかもしれませんが、少しの進歩しかないということです。

多くの人は、自分が感じる何かが人生に意味があると思い、理想的に物事を始めますが、幻滅してしまうことも時にあります。米軍の海軍パイロットだったわたしは、善意の志をもって、軍隊でのキャリアをスタートさせた人たちがこのような経験をするのを見てきました。特に、戦場で過ごした人はそうです。戦争の現実には幻滅し、目的を失った結果、PTSD（心的外傷後ストレス障害）と呼ばれる症状を引き起こすこともあります。

これと同様の幻滅は、政治や職場などで重要な仕事をしている人にも起こりえます。私たちは自分たちの周りの世界に変化をもたらすため懸命に働いていますが、たとえもしその体

裁は取り繕ったとしても、一箇所に長く留まっていたとしたら…一体どうでしょうか？

人は誰でも、自分の人生に何か意味があることを望んでいます。わたしはよく、フランスの科学者であるブレーズ・パスカルが「神が作った空洞」と呼んだ、すべての人の心の中に存在する、主なる神でしか埋めることができない穴のことを思い浮かべます。また、作家であり、講演家でもあるジョン・マックスウェルは、パスカルとはまた別の「空洞」について語っています。それは、人生のミッションを明確に定義しなければ埋めることができない、心の中の等身大の穴のことです。

ここ数年、わたしは、史上最も賢い人物として知られているソロモン王の生涯を学んできました。ダビデの息子であり、イスラエルの第3代王であるソロモン王は、紀元前10世紀に統治していました。イスラエルの黄金時代に君臨していた彼の功績は素晴らしいものでしたが、『伝道者の書』に何度も記され、ソロモンが人生の最後にも述べていた点、それは、「すべては虚しい」という言葉でした。別の翻訳では、「すべては無意味である」とも訳されています。

ソロモンの人生と、彼が成し遂げたことを振り返ってみると、「なぜ最初から色々なことがうまくいき、多くを成し遂げた人が、人生の最後で自分がしたことはすべて無意味だと結論づけることができたのだろうか？」と、問わずにはいられません。ソロモンの「なんと、すべてがむなしいことよ。風を追うようなものだ。」（伝道者の書 1:14）という結論は、「日（太陽）の下」で行われた仕事に関するものです。ということは、基本的にそれはすべてを含みます。もし「日の下」で、意味のある人生の目的を見つけられないのであれば、他の場所で意味を探さなければならないということです。数年前、自分の人生について同じような結論に達した後、わたしは、私たち人間が天上に目を向けな

ければならないことに気づきました。もし人生に真の意味や目的を見出したいのであれば、神そのものに目を向けなければならないのです。

長年の友人でありメンターであるジョー・コゲシャルは、「人生の目的声明文(ステートメント)」を書くようにと長年に渡りわたしに勧めてきました。成功している企業には目的や使命が記されたミッション・ステートメントがあるのに、なぜあなたは自分のステートメントを作らないのか？と。そして、彼の強い勧めに促されてついに書き記したその人生のステートメントが、最高のものを求めるために良いものを捨てることできる、羅針盤になることを実感しました。

さて、あなたの目的は何でしょうか？そして、あなたはなぜ今それをしているのでしょうか？あなたは自分の人生における、目的や使命が書かれたミッション・ステートメントを持っていますか？もしなければ、なぜないのでしょうか？

## もっと深めるために：

1. あなたの人生や仕事の中で、誰かに「見た目はいいけど、一箇所に長く留まりすぎている」と評されたことはありますか？もしかしたら、今、あなたはこのように感じているかもしれません。このような時、あなたはどのように対応しますか？

2. ご自身の人生において、どういう時に意味を見出しますか？あなたは、自分が正しいことに向かって努力していると確信していますか？それとも、高度な業績を残したソロモン王のように、完成させた素晴らしいプロジェクトやすべての物質的な富があるにもかかわらず、「す

べてがむなしいことよ。風を追うようなものだ」と結論づけてしまうことがありますか？あなたの答えを説明してください。

3. よく知られているパスカルの言葉を引用します。「誰の心の中にも神の形をした空洞があり、それを埋めることができるのは神だけである」。あなたはこの言葉に同意しますか？しませんか？また、それはなぜですか？

4. このマナの著者であるクルムップ氏は、個人的な目的やミッション・ステートメントを持つことについて言及しています。あなたはこのように個人でミッション・ステートメントを作るアイデアを聞いたことがありますか？わたしたち個人が作成するミッション・ステートメントはどのようなもので、また、それはどのように役立つと思いますか？

参考聖書箇所リストです。参照ください：伝道者の書 12:13-14、使徒 17:28、1 コリント 3:9、ピリピ 3:10

英語版 Monday's Mana は[こちら](#)

この発行は、はウィリアム・”フリッツ”・クルムップ氏によって書かれました。月曜日のマナ®はCBMC が毎週発行しているメールマガジンです。CBMC は、1930 年に創立され、世界中で、各業界で働く従業員や経営者に対してイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。

©2021 年-この発行の全ての権利はブラジル CBMC・日本 CBMC にあります。